

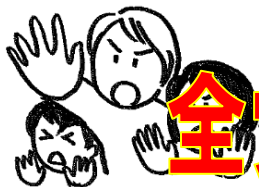
2016年12月15日

第10号

# 全労連

全労連  
憲法・平和グループ

## 憲法 平和闘争ニュース



### 日米両政府の犯罪ふたたび!



## 全労連が防衛省に要請書提出

### オスプレイ飛行中止・配備撤回求める

2016年12月15日、全労連は稲田防衛大臣あてに「オスプレイの飛行中止と配備撤回を求める要請」を出しました(当ニュース2ページ目参照)。今回の事故によりオスプレイがいかに危険なものであるかが明らかになりました。このような危険な事故が繰り返されないようオスプレイの飛行中止、高江へのオスプレイパット建設工事の中止を求める要請行動に取り組みましょう

### 怒りの沖縄統一連 NEWS が届きました



沖縄本島東海岸名護市安部の沿岸部で12月13日午後9時すぎ、普天間基地のオスプレイが墜落しました。復帰後48件目の墜落です。海兵隊は今年10月以降、Aクラス(死亡または200万ドル以上の損害)の事故を3度起こし、米軍準機関紙「星条旗」は「海兵隊航空は完全に嵐に直面した」と報じています。同日には別のオスプレイが普天間基地で胴体着陸をしたと報じられています。

墜落現場に近い集落では、狭い道路を高江に配備されていた県内外の機動隊が押しかけ、規制にあたっていました。統一連、オール沖縄会議、ヘリ基地反対協、平和センターの幹部もかけつけ現場を確認。政府は海兵隊と同じく「不時着」と発表(NHKは「着水」と報道)しましたが「星条旗」ですら「クラッシュ」(=墜落)と断定。実際、機体はバラバラでした。オスプレイによる低空飛行訓練が連日続いた中での事故でもあり、再び起きるのは明らか。オール沖縄会議は22日にも名護市内で抗議集会を開く予定。県民会議は近日、沖縄防衛局など関係機関に抗議の申し入れをおこなう予定です。安保破棄中央実行委員会は15日に防衛省に緊急の申し入れと街頭宣伝をおこないます。「建白書」の実現がまさに解決への近道。翁長知事を先頭にして県民がさらに団結をかためるときです。(記事・写真:統一連 NEWS 2016年12月14日 NO.16-53)

### 福島事故から5年9か月のイレブン行動～「新・福島100万人署名」を訴える

3・11東日本大震災から5年9か月。「原発をなくす全国連絡会」のイレブン宣伝行動が、今月も各地でとりくまれました。東京では、12月13日、新宿駅西口で行われました。全国の原発の廃炉、国と東京電力による福島被災地の生業の再建、避難者への住まいの確保や完全賠償などを求めて、署名を呼びかけました。全労連、民医連など25人が参加しました。

福島では、今も8万人が避難生活を余儀なくされていますが、帰還困難区域以外は、来年3月末で、避難指示を一部解除するというのが政府の方針です。しかし、南相馬では、避難解除がされましたが、住民は戻っていません。環境が整備されていないからです。病院も、店もないところに、帰ることはできません。さらに、子育て中の親子は、やっぱり放射線量がとても不安なのです。福島第一原発事故が収束していないまま、汚染水の問題も解決していないままの状態、帰ることはできないのです。

このように、実態はとても帰還できる状態ではないのに、原発事故は終わったことにして、避難者への保証を打ち切る「福島切捨て政策」をととても認めることはできません。「福島切捨てを許さない署名です」「原発廃炉を求める署名です」という呼びかけに、通行人は次々と立ち止って署名に協力してくれました。全労連や民医連、民青同盟、農民連などの代表がつぎつぎとマイクを握り、日本共産党の真島省三衆院議員は「賠償や事故対応の費用を国民に押しつけるなど許されない」、武田良介参院議員は「国・東電は福島復興、賠償に責任を果たすべきだ」と訴え60人の署名が寄せられました。

全国で、この「新・福島100万人署名」をどんどん広げましょう。また、「3・11」の1か月前、来年の2月11日には、新聞意見広告を出します。「福島を忘れない」ことを全国に訴え、原発再稼働を許さない世論を高める意見広告です。団体一口5000円、個人は一口1000円です。ひとり一人の声を集めて、意見広告運動を成功させましょう。

2016年12月15日

防衛大臣 稲田 朋美 様

## オスプレイの飛行中止と配備撤回を求める要請

全国労働組合総連合  
議長 小田川義和

12月13日夜、沖縄・普天間基地に配備されている米海兵隊のMV22 オスプレイが沖縄・名護市のキャンプシュワブ近くの浅瀬に墜落し、大破しました。

全労連は、構造的な欠陥機であるオスプレイの配備撤回を求めてきましたが、今回の事故を踏まえ、オスプレイの飛行を中止し、配備を撤回することを緊急に求めます。

今回の事故は、恐れていたことが現実になったといわざるを得ません。幸い海上への墜落で、住民の犠牲はありませんでしたが、一步間違えば大惨事につながりかねない重大事故です。

あらためて、基地負担の深刻さと米軍が我が物顔でふるまう沖縄の厳しい現実が示されました。

全労連は、このオスプレイ墜落という重大事故の発生に強く抗議するとともに、オスプレイの飛行・訓練の全面的な差し止めと日本からの撤去を強く求めます。

また、今回の事故により、高江のオスプレイパッドがいかに危険なものであるかが明らかになった以上、強権的な建設工事を直ちに中止するよう求めます。

さらに、オスプレイの配備や訓練は、いま全国にひろがっています。日米両政府がすすめている一連のオスプレイにかかわる計画を中止するよう強く求めます。

今回の事故によって、オスプレイの構造的欠陥がいっそう明確になった状況を踏まえ、以下の事項の実現を強く求めます。

### 記

1. 日本全国どこでも、オスプレイの飛行を中止すること
2. 普天間基地へのオスプレイ配備の撤回と全国への訓練拡大を中止すること
3. 陸上自衛隊が予定しているMV22 オスプレイの導入を中止すること
4. 東京・横田基地に配備予定のCV22 オスプレイの配備を中止すること
5. 千葉・木更津ですすめられている日米共用のオスプレイ整備拠点を撤去すること
6. 騒音被害や低周波被害が出ている沖縄・東村高江へのオスプレイパッドの建設を中止すること

以上